

ニホンザルの保護・管理に関する最近の動向

1. 分布状況

これまでニホンザルの全国的な分布調査は 1978（昭和 53）年、2003（平成 15）年、2009（平成 21）年、2015（平成 27）年に実施されてきた（環境庁，1979、環境省生物多様性センター，2004，2011、環境省，2016，2017）。

2017（平成 29）年度に最新の群れの分布状況等を把握するために環境省が実施した「ニホンザルの群れの生息状況等に関する調査」で得られた群れの分布情報を整理して示したものが図 1 である。群れが確実な生息情報があると回答されたメッシュを赤色で、群れの生息が推定されると回答されたメッシュを緑色で示した。同調査では、環境省が 2015 年に実施した全国の市町村（北海道、沖縄県、島嶼部などを除く）を対象にした群れの分布状況等に関するアンケート調査において、ニホンザルが生息すると回答のあった市町村を対象に実施した。

ニホンザルの群れが分布しているのは、北海道、茨城県、長崎県、沖縄県を除く 43 都府県となっている。

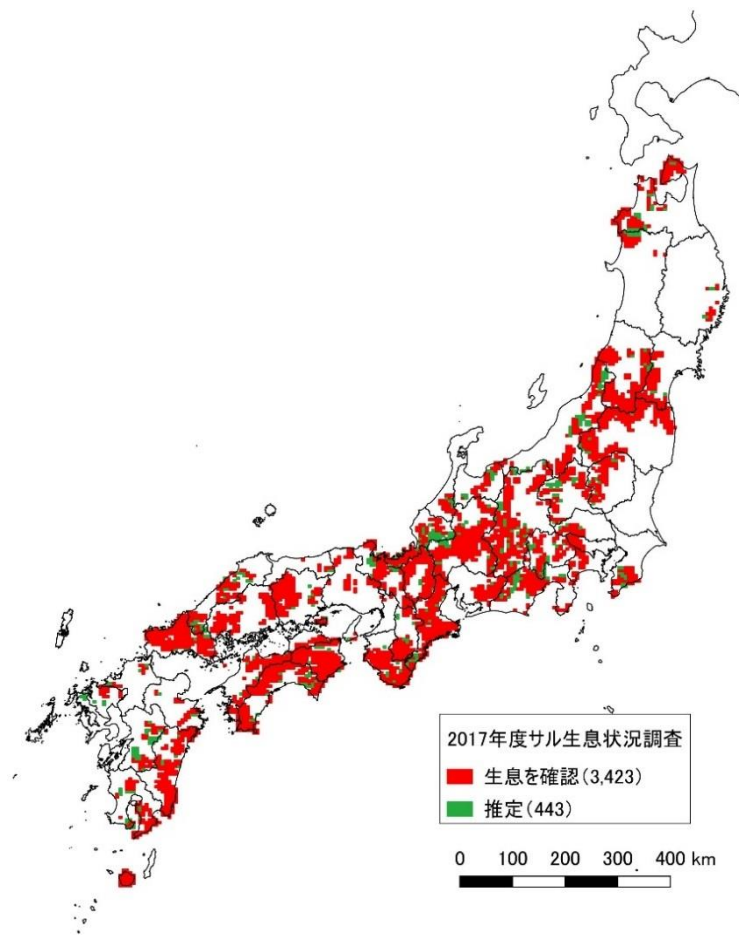


図 1 ニホンザルの群れの分布状況

2. 被害の状況

農林水産省によれば、2018（平成 30）年度の獣類による農作物被害金額のうち、全体の 6.4%（約 8 億円）がニホンザルによるものとなっている。

農作物被害金額と農作物被害面積は、2010（平成 22）年度をピークに減少傾向にある（図 2 及び図 3）。農作物被害量は、増減しながらも 2012（平成 24）年度以降は概ね減少傾向にある（図 4）。

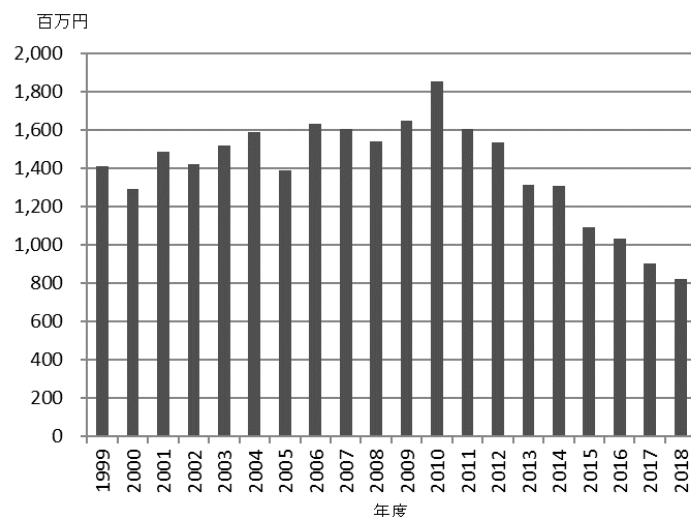


図 2 ニホンザルによる農作物被害金額の推移
（農林水産省ホームページデータより作成）

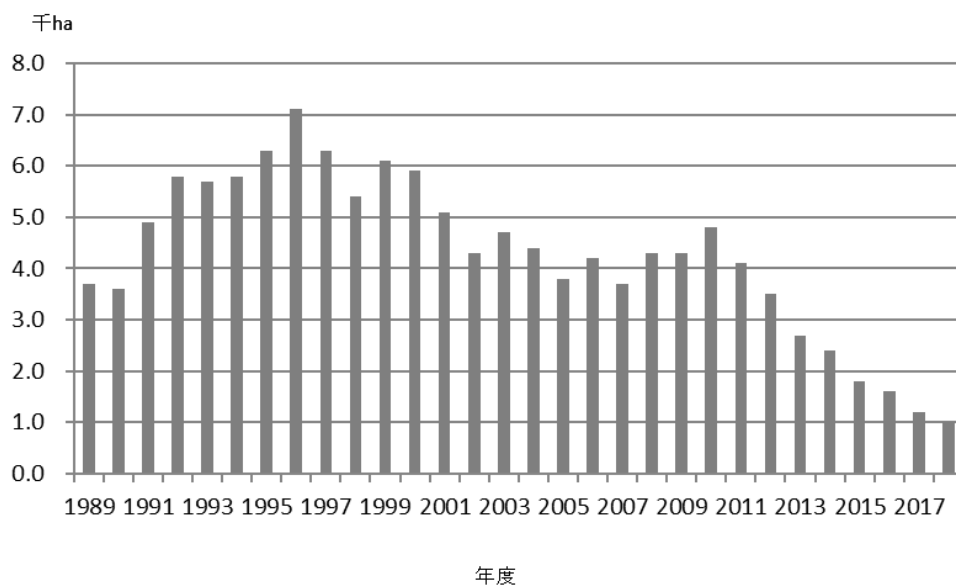


図 3 ニホンザルによる農作物被害面積の推移
（農林水産省ホームページデータより作成）

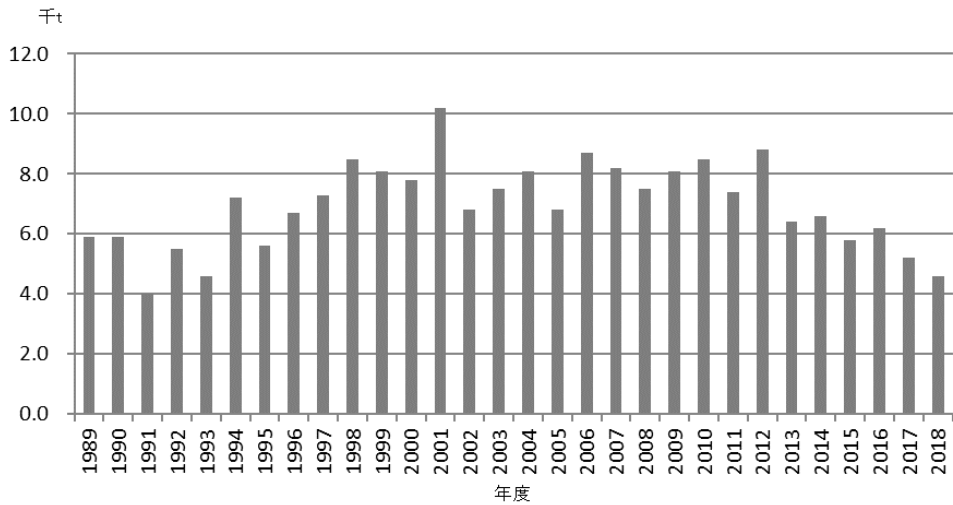


図4 ニホンザルによる農作物被害量の推移
(農林水産省ホームページデータより作成)

3. 捕獲の状況

最近のニホンザルの全国の捕獲状況は図5に示したとおりである。ニホンザルの捕獲は許可捕獲のみであり、従来の被害防止目的の捕獲（有害鳥獣捕獲）に加え、2002（平成14）年度からは特定計画に基づく数の調整による捕獲が開始されている。捕獲数は、被害防止目的の捕獲、特定計画に基づく数の調整とともに年ごとに変動はあるものの、概ね増加傾向にあり、両方を合わせた捕獲数は年間2～2.5万頭である。

特定計画に基づく数の調整による捕獲数は、ニホンザルを対象とした特定計画が運用されはじめた2002（平成14）年度以降、特定計画を策定した府県の増加と共に徐々に捕獲数が増えてきたが、最近はやや減少傾向にあり、捕獲数全体の2割程度となっている。

また、都府県別のニホンザルの捕獲数の推移は図6のとおりである。

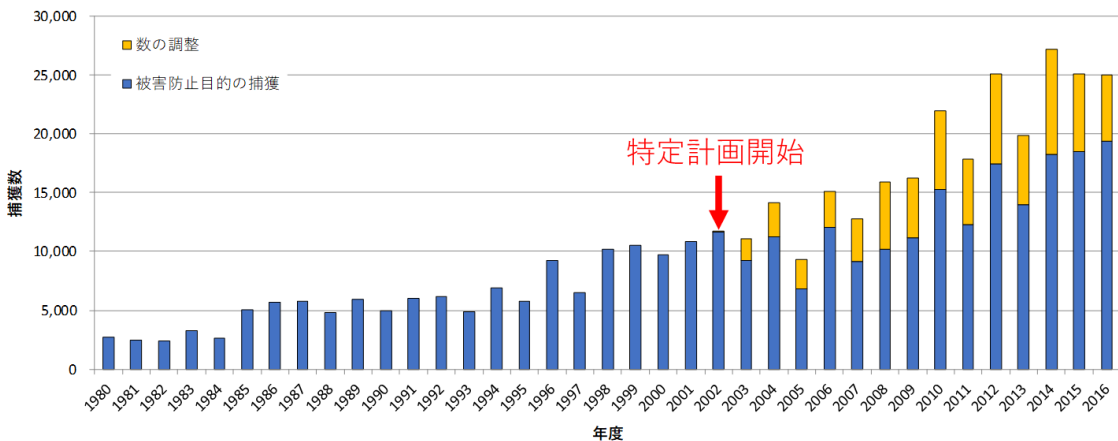
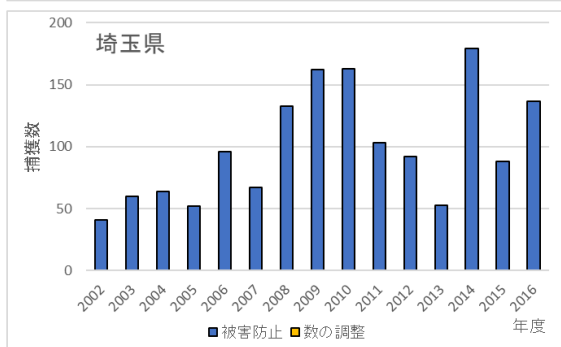
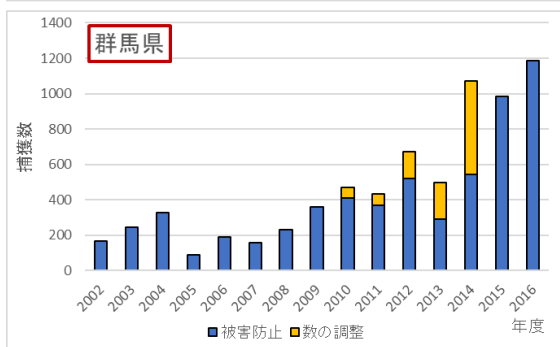
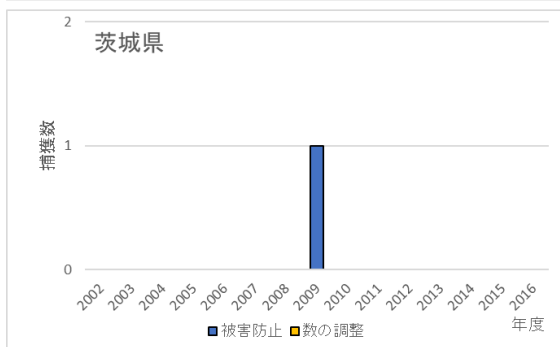
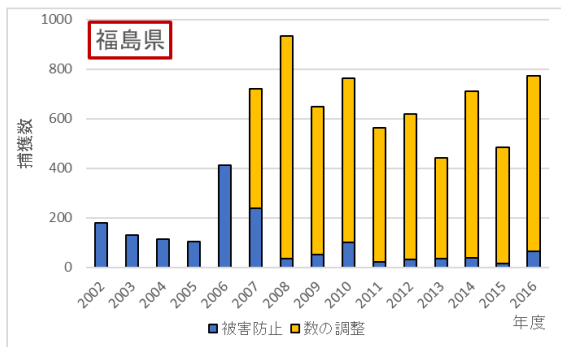
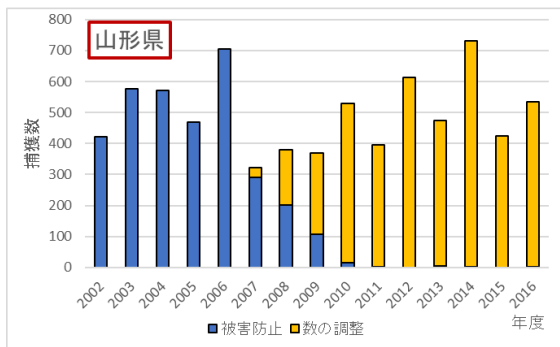
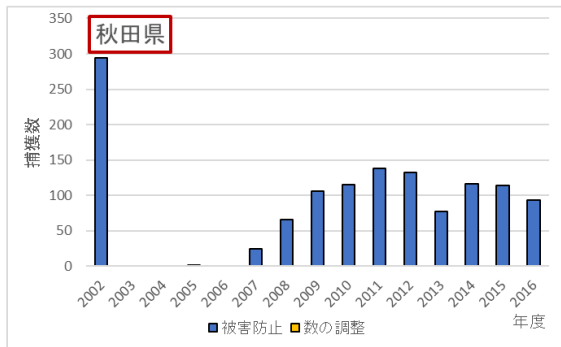
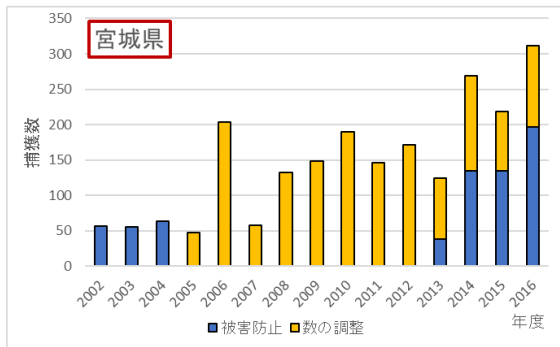
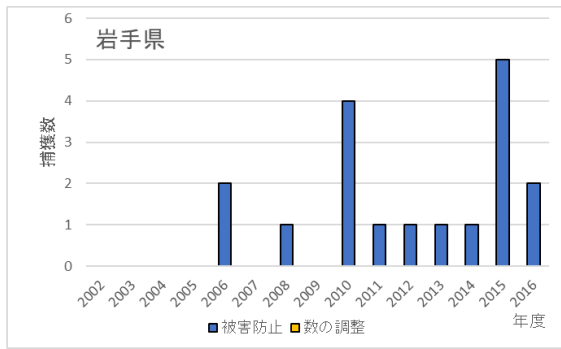
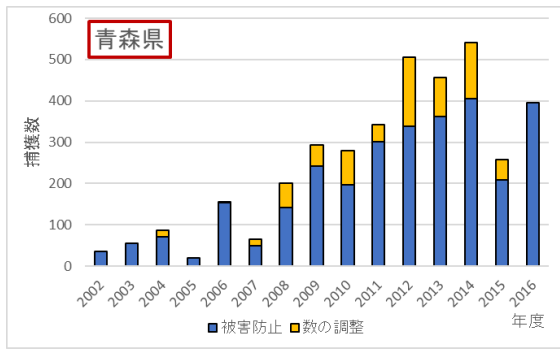
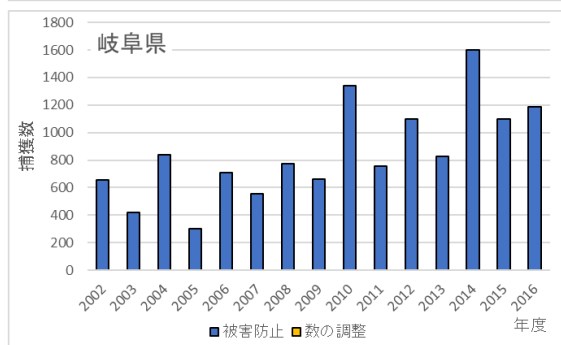
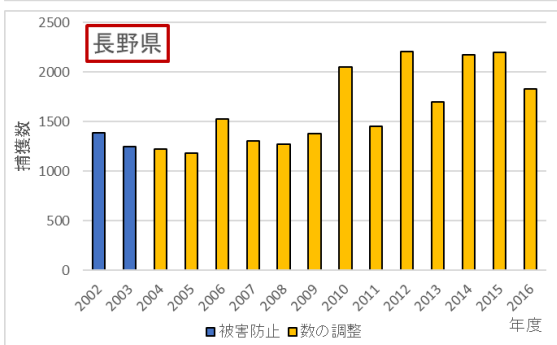
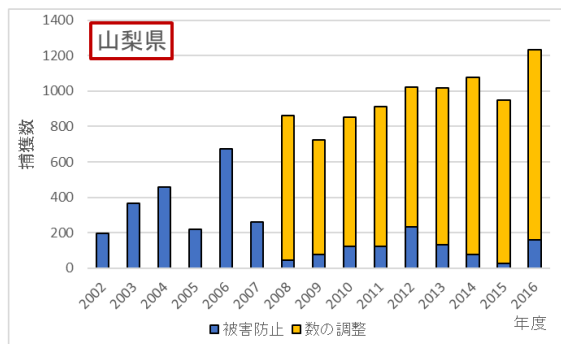
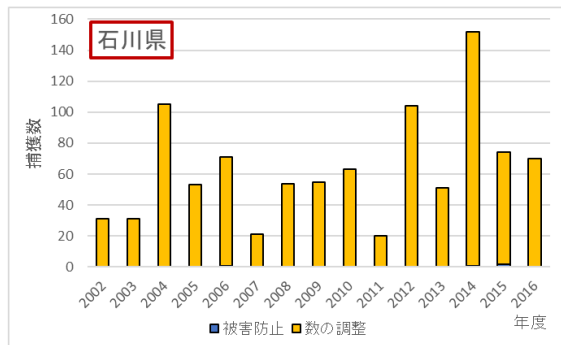
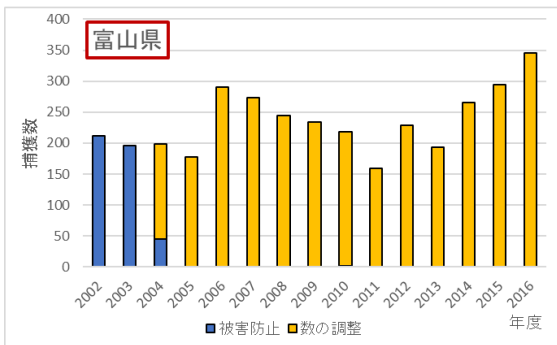
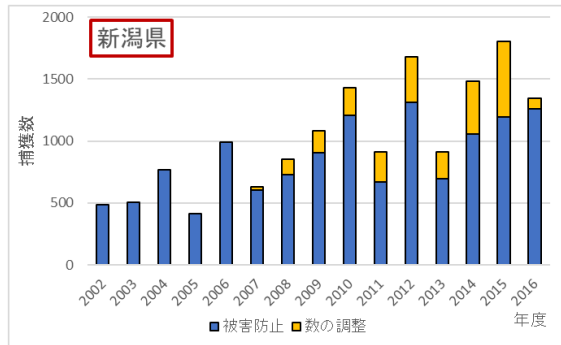
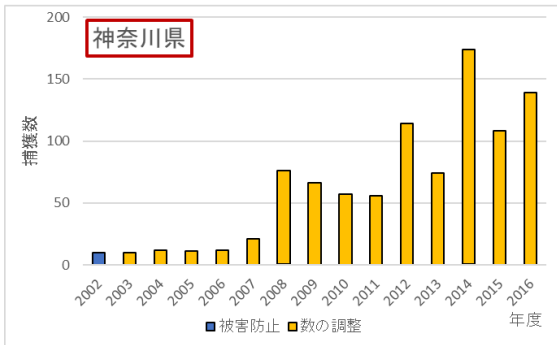
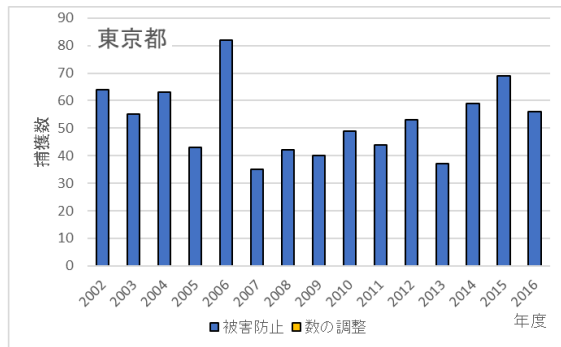
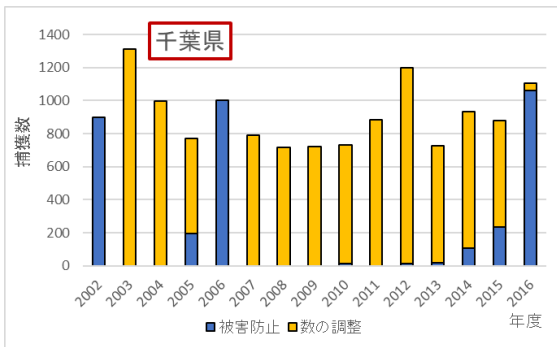


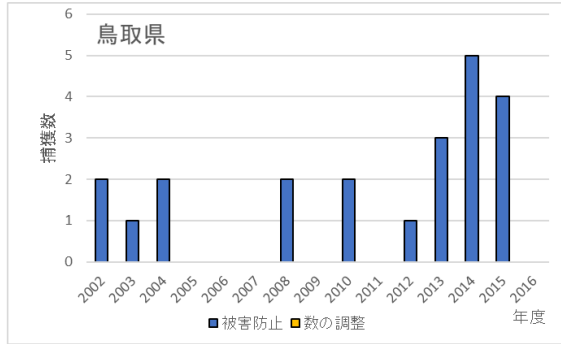
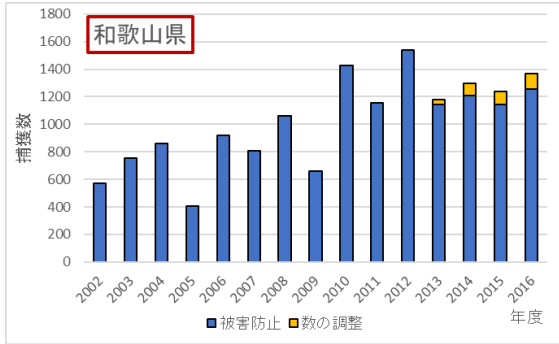
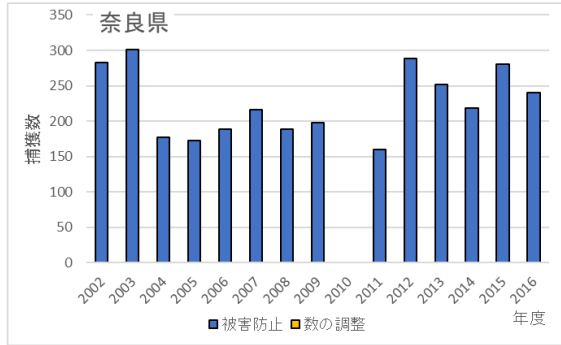
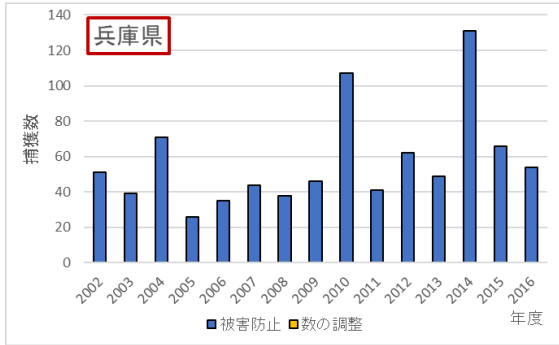
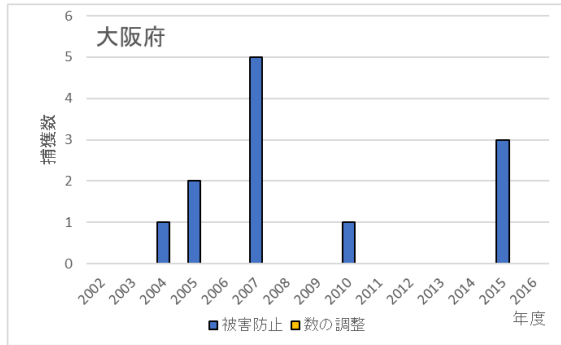
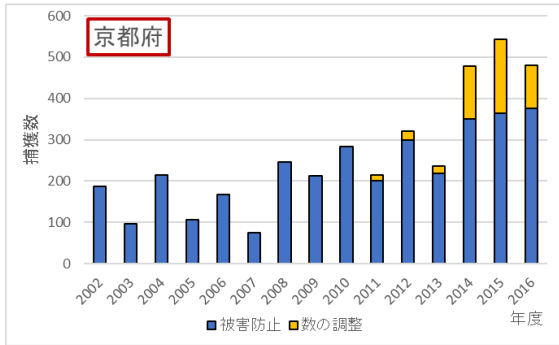
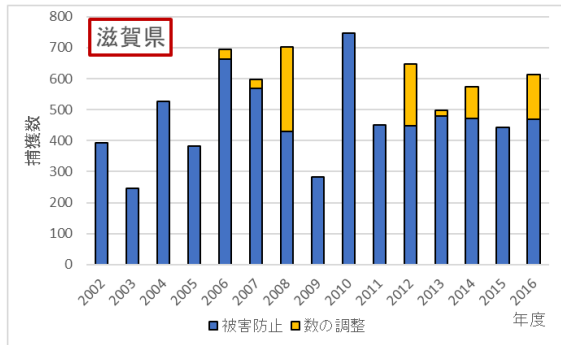
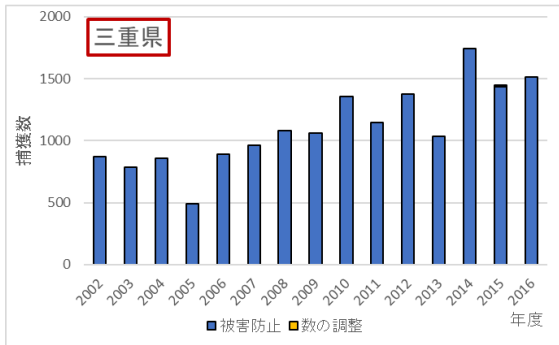
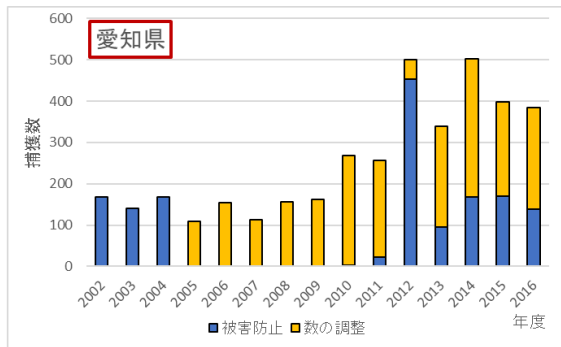
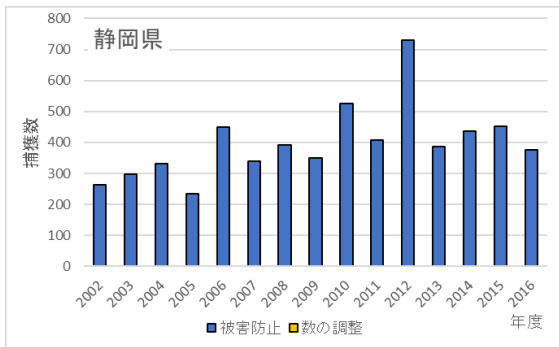
図5 ニホンザルの捕獲数
鳥獣関係統計（環境省ホームページ）より作成



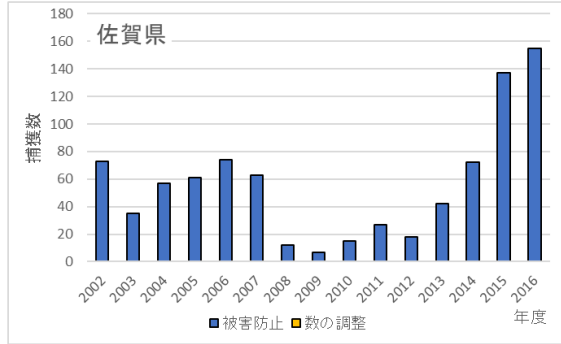
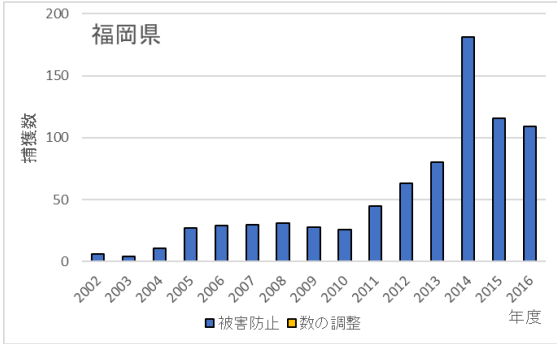
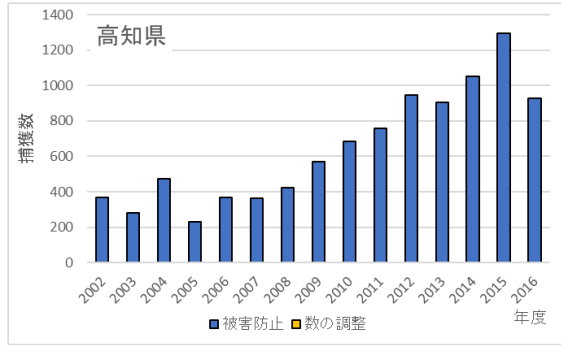
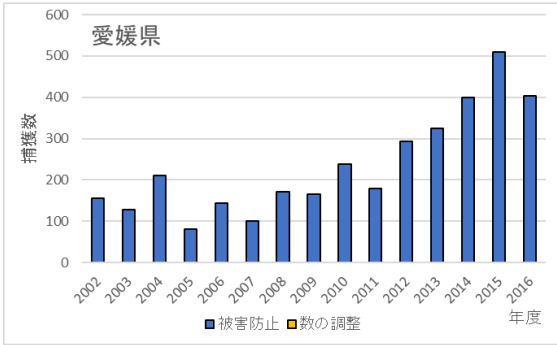
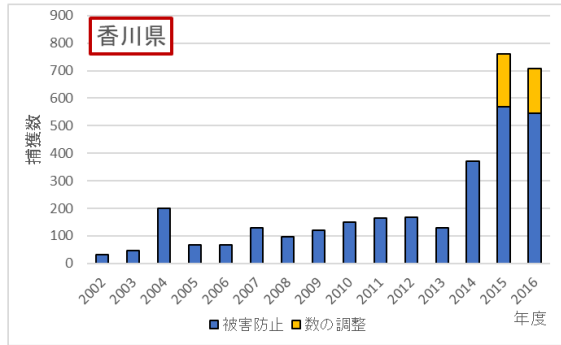
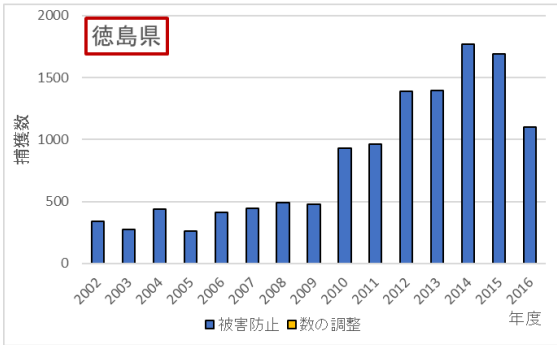
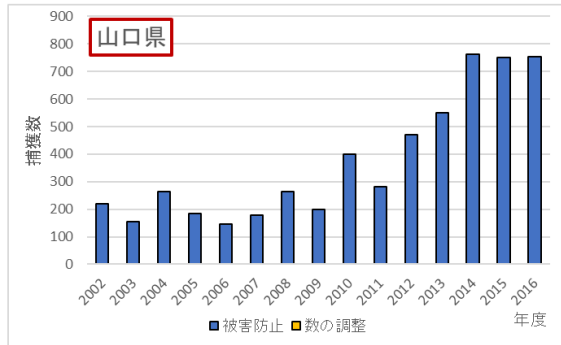
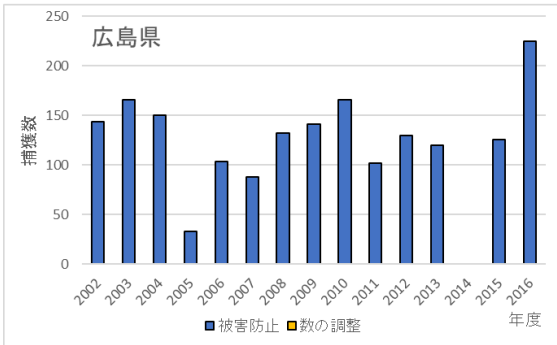
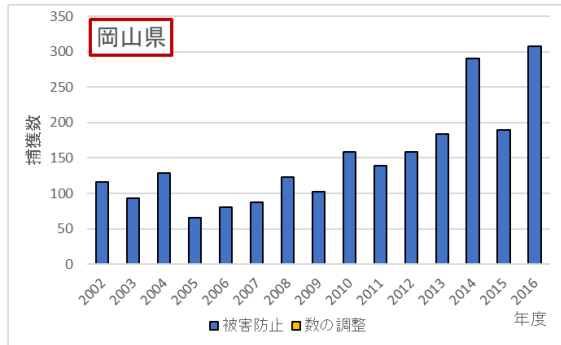
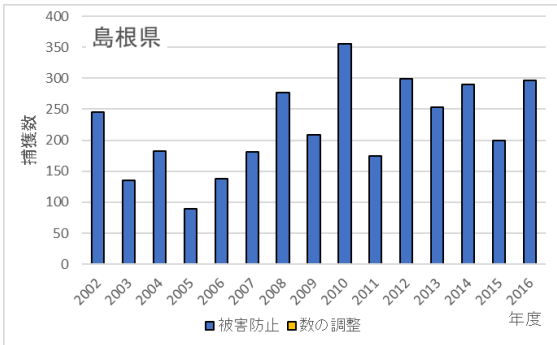
注) 都道府県名の赤枠は第二種特定鳥獣管理計画を策定している府県を示す。



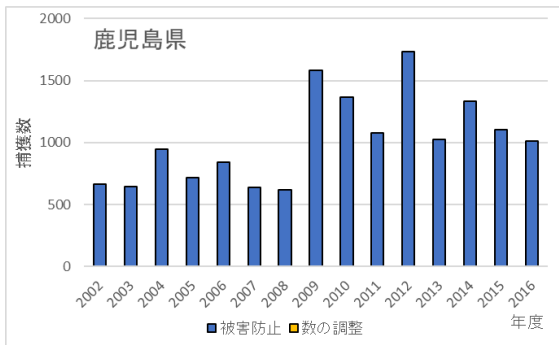
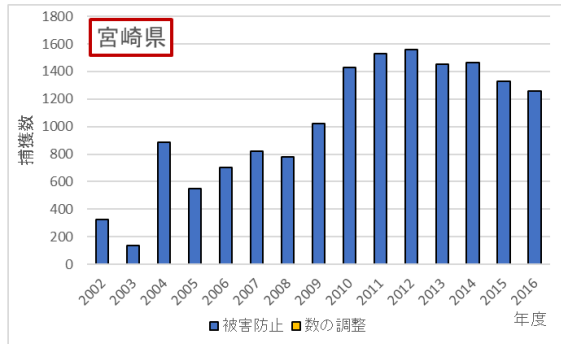
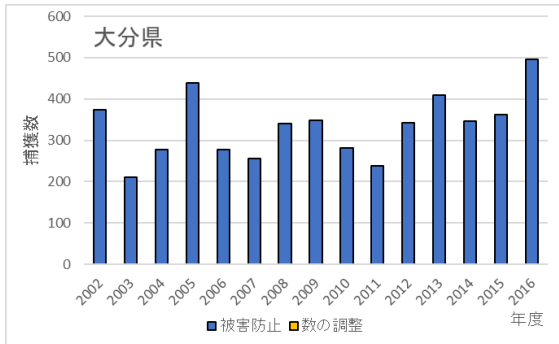
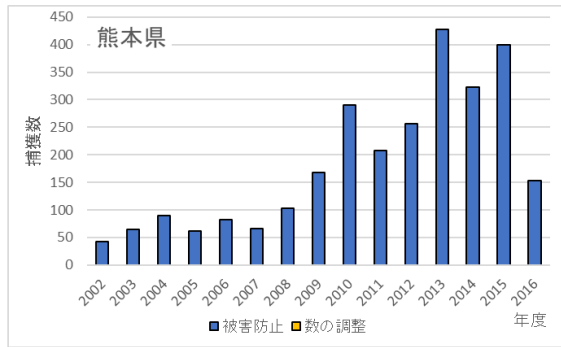
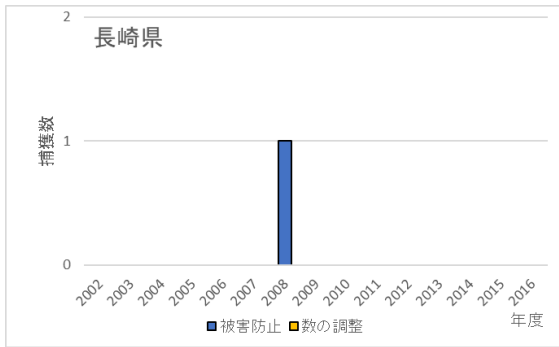
注) 都道府県名の赤枠は第二種特定鳥獣管理計画を策定している府県を示す。



注) 都道府県名を赤枠は第二種特定鳥獣管理計画を策定している府県を示す。



注) 都道府県名を赤枠は第二種特定鳥獣管理計画を策定している府県を示す。



注) 都道府県名を赤枠は第二種特定鳥獣管理計画を策定している府県を示す。

図6 都府県別ニホンザルの捕獲数の推移
鳥獣関係統計（環境省ホームページ）より作成

4. 特定計画の策定状況

2020（令和2）年1月現在、ニホンザルについて策定されている特定計画は26計画で、全て第二種特定鳥獣管理計画である（表2）。

表2 ニホンザルの第二種特定鳥獣管理計画の策定状況

都道府県名	第二種特定計画	都道府県名	第二種特定計画
北海道		滋賀県	○
青森県	○	京都府	○
岩手県		大阪府	
宮城県	○	兵庫県	○
秋田県	○	奈良県	
山形県	○	和歌山県	○
福島県	○	鳥取県	
茨城県		島根県	
栃木県	○	岡山県	○
群馬県	○	広島県	
埼玉県		山口県	○
千葉県	○	徳島県	○
東京都		香川県	○
神奈川県	○	愛媛県	
新潟県	○	高知県	
富山県	○	福岡県	
石川県	○	佐賀県	
福井県	○	長崎県	
山梨県	○	熊本県	
長野県	○	大分県	
岐阜県		宮崎県	○
静岡県		鹿児島県	
愛知県	○	沖縄県	
三重県	○		

: ニホンザルの群れが分布する都府県
 : ニホンザルの群れが分布しない道県